

令和５年度 第３回 まつやま人口減少対策推進会議

運営幹事会 議事概要

(1) 開催日時・会場

開催日時：令和６年３月２６日（火） 13:30～15:00

場 所：松山市役所 本館５階 本部会議室

(2) 出席者

「令和５年度 第３回 まつやま人口減少対策推進会議 運営幹事会 出席者名簿」に記載のとおり

(3) 議事

- １．令和６年度活動予定について
- ２．専門部会の実施報告について
- ３．市長への提言書について
- ４．その他

(4) 議事概要

１．令和６年度活動予定について

- ・事務局から今後の運営幹事会の活動、総会の予定について説明。

２．専門部会の実施報告について

３．市長への提言書について

※関連性があるため一括審議

今年度の取組について各専門部会長から説明後、意見交換。

【ライフデザインプロジェクト】

- ・ライフデザイン出張講座について、松山大学、聖カタリナ大学、松山東雲女子大学、人間環境大学、愛媛大学、松山東雲短期大学で実施し計 592 名の学生が参加した。
- ・学生ボランティア（男性 3 名、女性 8 名）が、働く場の多様性について、ジェンダー座談会や共働きインターシップなどを通して学び、活動から得られた成果を発表した。
- ・認定スピーカーについて、今年度 3 名の新たな登録があり 21 名となった。ライフデザイン出張講座に述べ 12 名、その他、学生向けイベントや県内で実施された少子化対策に係る事業で延べ 28 名が登壇またはゲストスピーカーとして参加した。

(意見)

- ・中小企業が個別に発信しても伝えたい情報が、特に学生に届きにくい。少しまとまった情報にするなど、みせる方法を検討する必要がある。

- ・今の若い世代は学生の間にキャリア教育を受けており、労働環境や男女平等が良い会社であることが標準という認識があり、大人世代との認識のギャップが就職で県外に流出してしまう理由の一つでは。
- ・学生や若者に対して知識を与えるだけではなく、彼らの視点を受けられる仕組みが必要。

【企業の生産性アッププロジェクト】

- ・今年度は松山市管内 ICT 利活用調査、経営のデジタル化に関する相談支援、インボイス制度に対応したクラウド会計の導入支援、高速通信技術活用研究会を実施した。
- ・ICT 利活用調査では、今回の調査結果と、これまでのコロナ前、コロナ禍に実施した調査結果を比較し、地域の中小企業が生産性を上げるために必要なことをまとめる。
- ・クラウド会計の導入支援については、インボイス制度への対応のほか、会計だけではなく、バックオフィス業務に関するデジタル化の支援を行い述べ 256 件に対応した。
- ・デザイン経営の支援については、商店街組合等とインバウンドやキャッシュレス決済などに関するデジタル化について意見交換を行った。
- ・高速通信技術活用研究会では、5G の活用等について継続した研究会を実施した。

（意見）

- ・人口減少の中でデジタルにより生産性を向上して市内総生産を維持するというのは難しく、デジタルで全く違うプロセスを作って、新たな付加価値を作ることが重要になる。
- ・今後は AI をどのくらい活用できるかがポイントになる。
- ・デジタルネイティブ世代の感性で新たなプロセスや仕組みを作り、それらを取り入れていく環境が必要。

4. その他について

- ・次期計画策定について事務局から説明。